

人生会議



もしもの時のために・・・

厚生労働省では、今まで「ACP：アドバンス・ケア・プランニング」として普及・啓発を進めてまいりましたが、より馴染みやすい言葉となるよう「人生会議」という愛称で呼ぶことに決定しました。日ごろからあなたの希望や価値観などについて自分自身で考えておき、それを周囲の信頼する人たちと話し合い、共有しておきましょう。

- ① 大切にしていることは何ですか？
- ② 信頼できる人、意思を尊重してくれる人は誰ですか？
- ③ 希望する治療やケアを、信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか？
- ④ 思いを周りの人に伝えましたか？

気持ちは変わるものです。

①～④を何度も繰り返し考え、話し合いをしましょう



心をつなぐノート



もしもの時のために・・・

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）において「心をつなぐノート」として、最期を迎えるにあたって、準備しておいた方がいいことなどをまとめたノートを講演会等で配布しています。いわゆる「エンディングノート」と呼ばれるものです。考えるきっかけとして参考にしてください。



津島市民病院は、最期まで自分らしく過ごすために、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を推進しています。



★ ずっと自分らしく生きるために ★

ACP

人生会議について 考えてみませんか？



津島市民病院は、最期まで自分らしく過ごすために、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を推進しています。

まず、話を始めませんか？
自分の今後のこと

津島市民病院
地域医療センター
TEL0567-28-5151



①あなたが大切にしていることは何ですか？

まずは自分が大切にしていることを書いてみましょう・・・

(例) 「孫と毎日遊ぶ」「愛犬との散歩」
「友人とお話すること」「庭の手入れ」など



記載日 年 月 日 氏名

記載日 年 月 日 氏名

②あなたが信頼できる人、 意思を尊重してくれる人 は誰ですか？

命の危険が迫った状態になると・・・

約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。

あなたの代わりに意思を尊重してくれる、信頼できる人を書いてみましょう・・・

(例) 「配偶者」「お子さん」「ご友人」
「ケアマネジャー」など



③あなたが希望する治療や ケアを、信頼できる人や 医療・ケアチームと話し 合いましたか？

命の危険が迫った時、あなたはどのような治療やケアを望むのか書いてみましょう・・・

(例) 「無理せず自然な形で最期を迎えたい」
「最期まで積極的治療をおこないたい」
「最期まで家でケアをうけたい」など



④あなたの思いを、 周りの人に伝えましたか？

誰にどんなことを伝えたか書きましょう・・・



